

民間所有の井戸活用における 県の取組について

令和 7 年 3 月議会

江南市水道事業では、令和8年度までに地下水揚水量を1日当たり1万 2,800 立方メートルまで削減、削減した取水量は県営水道からの受水量で補う計画としており、常時取水を行わない予備水源の取水を停止することで規制揚水量の遵守に取り組むことになっている。令和8年度以降に予備水源を廃止し、予備水源10 か所のうち借地にある水源は、廃止後の土地について関係者と協議予定ではあるが、市所有地に設置してある、後飛保第6号井と小鹿第3水源については、補助金を活用するなどして廃止するのではなく防災井戸として継続管理してはどうか。

- ▶ 防災井戸の設置について、まずは指定避難所である市内の中学校を最優先に考えている。後飛保第6号井と小鹿第3水源の井戸については、能登半島地震の教訓を踏まえ、防災井戸は重要であることから地元の意見を聞くなどして財政当局と相談しながら検討していきます。



不登校に対しての公的な補助について

令和 7 年 3 月議会

不登校の児童が平日の日中に放課後等デイサービスを利用することは可能か。

- ▶ 不登校を理由とした児童の利用はできないが、児童に障害があり障害福祉サービスの利用申請をしたうえでサービス利用が認められれば放課後等デイサービスの利用は可能。課題として市内事業所において平日の日中利用が可能か、受け入れ態勢を整える必要もあることから、事前に相談支援事業所や放課後等デイサービス事業所へのご相談をお願いします。

「切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究」について、未就学段階から中学校卒業後までの情報連携等の対応を、江南市はどのようにしているか。

- ▶ 市費対応の発達支援員が、就学前の早い段階から適切な学びの場を検討していくために年間を通して保育園、幼稚園、児童発達支援センター、及び保健センター等を訪問し、未就学児の様子を観察し、保育園や幼稚園等の職員から情報収集に努めている。また、年長児やその保護者に対しては、7 月・9 月の地域の小学校の見学会を、保育園・幼稚園等を通じて案内し、年長児やその保護者が、就学前の早い段階で学校と繋がることができるように、見学会への参加を促している。一方、小学校の教員は、各園を訪問し、実際の園児の様子を観察し、必要な配慮や支援についての情報共有を図っている。なお発達支援員は、保護者が作成したサポートブックを保護者の同意を得て各園から収集し、各小学校に届け情報の引継ぎを行っている。小学校から中学校への引継ぎにあたっては、3 月に中学校の教員が小学校に訪問し、児童に関する連絡会を行っており、不登校やその傾向がある児童に関しての情報共有を図っている。また、江南市いじめ・不登校対策協議会の調査研究部会が作成している「不登校児童生徒の状況追跡調査個表」を活用して欠席状況や児童の様子、関係機関との連携について、書面においても情報共有が図られるようにしている。



自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金

自転車に係る交通事故による被害の軽減を図るため、自転車を利用する児童、生徒等及び高齢者のヘルメットの購入費用の一部を（¥2,000 上限で）助成します♪



次世代に希望と実りを！ 頑張る子育て世代代表！

尾関 あきら (52歳) 3期

後援会 宮田事務所 〒483-8361 江南市宮田町平和113 (自宅)
飛高事務所 〒483-8333 江南市飛高町泉130 MTGビル1F (おぜき建築事務所内)

■ Tel・Fax : 0587-75-1983 ■ Mail : s14zx@owari.ne.jp
※留守電の際は、お名前・ご連絡先をお願いします。追って、折り返しご連絡差し上げます。

YouTubeチャンネル展開中！
「# ぶーする江南」



or

YouTube上で検索!!
#ぶーする江南

昭和 47 年 8 月 28 日生まれ (ねずみ年)

一級建築士 (自営)、インテリアコーディネーター
専門分野は都市計画・地域計画・まちづくり (+子育て支援)
一男一女の父。(高3・中2)

H29 年度 宮田小 PTA 会長
R1 年度 宮田小コミュニティースクール推進委員

H27 年 4 月 統一地方選、江南市議会議員に
初出馬・初当選 (現在 3 期目)

H30 年度 厚生文教委員会 (常任) 委員長
江南市水道事業経営審議会 副会長
R2 年度 建設産業委員会 (常任) 委員長
R4 年度～ 江南市上下水道事業経営審議会 副会長
R5 年度 議選監査委員

まちづくり江南市民会議 顧問
飛高ボランティア協議会 顧問

こちらから各詳細が
ご覧頂けます▶



Konan Ci ty Assembly Report

江南市議会議員

尾関 あきら

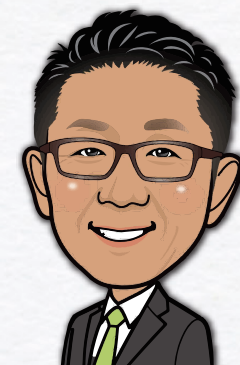
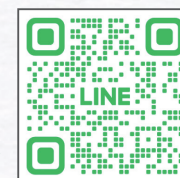
春夏
第27号
Spring・Summer



スカイランタンイベント (すいとびあ江南)

TOPICS

- 議会ダイジェスト (一般質問)
- 自転車ヘルメット着用促進事業費 補助金
- 今年の市民花火大会は10/11(土)の開催です!
- LINEサポーターズクラブやってます▶



ごあいさつ

江南市議会 尾関あきらです。

日頃より市政に関心を寄せ、当方へ多くのご要望をお伝え頂きありがとうございます。

結果は基よりプロセス(過程)も大切に、皆さまへ実直にお応え出来るよう努めます。



さて、市議会議員として10年、その職責に就かせて頂きまして、このたび全国市議会議長会、東海市議会議長会ならびに市政功労として10年表彰をお受けする事が出来ました。身に余る光栄な事と存じますと共に、皆様方の後押しのおかげと心より感謝を申し上げます。

3期目の2年も終わり、折り返しとなります。残りの任期2年の日々を大切にしながらしっかりと務め、行動に移し、そして走りながら考える事でスピーディーな実践を行います。

そして皆さま方のお役に立てるよう、さらに明確な次のビジョンを具現化していきたいと思っていますので、引き続き更なるご支援の程、よろしくお願いいたします。

議会一般質問ダイジェスト

総合評価競争入札について

令和6年6月議会

企業や予定配置技術者の技術力を評価するための加算点項目があるが、県と江南市の加算点項目に違いはあるのか、また、加算点項目の配点や項目の追加など見直し等の運用はどのようにしていくか。

- ▶ 県と市で相違する主な加算点項目は、企業の技術力に関する事項の加算点項目で、江南市が4項目であるのに対し、愛知県は8項目あり、優良工事表彰、国家資格等の取得者数、建設機械の保有数、ICT活用工事の取組実績を愛知県では加算点項目としている。地域精通度・地域貢献度に関する事項で、県が6項目であるのに対し、江南市が9項目ある。障害者雇用、更生保護の協力雇用主登録、あいち女性輝きカンパニーの認証の有無を市では加算点項目としている。加算点項目の追加・見直しについては、主に地域精通度・地域貢献度に関する事項で、毎年度検討している。

既存施設の今後の利活用について

令和6年9月議会

布袋ふれあい会館のお風呂跡は、壁はしっかりとしており空間自体に元々防音効果があると考えます。付近には布袋中学校、尾北高校があり吹奏楽部やジャズアンサンブル部があり、江南高校吹奏楽部は、今年も吹奏楽コンクールで愛知県代表として東海大会へ出場しており、市内では音楽活動が活発で根付いていると考えることが出来るが、そういった活動を市が後押しするようにスタジオや音楽室として整備していくことはどう思うか。

- ▶ 提案いただいたスタジオの整備もアイデアの一つとして、早い段階で市民の皆様に活用して頂けるよう整備内容を具体的にしていきたいと考えています。



動画配信中！

こちらからご覧頂けます



木曽川左岸公園計画について

令和6年9月議会

昭和52年3月に「木曽川左岸河川敷計画」として策定

地区名	事業計画区域 面積(ha)	ゾーン名	概要
A	7.7	自然ふれあいゾーン	江南緑地公園(中般若)として約1.7 ha 供用 自然観察の森やテニスコートなどのスポーツ施設が計画
B	7.1	想像と冒険の体感ゾーン	新ごみ処理施設の建設地、その東側は防災拠点、西側は江南市が開発するエリアとして計画。 自然体感施設や広場の計画がされているが未供用
C	19.8	水と緑のふれあいゾーン	堤外地の河川敷を江南緑地公園(草井)として約7.4 ha を供用開始、 堤内地側は、すいとびあ江南を整備している以外は、新学校給食センターの建設地、 一般廃棄物最終処分場、鴨川排水路用地、民間事業者のプラントなどに土地利用がされている地区
D	5.3	ふれあい花壇ゾーン	フラワーパーク江南の東側に位置している地区 花木見本園や芝生広場などの計画がされているが未整備
E	38.9	自然文化活動ゾーン	現在はフラワーパーク江南として約23 ha を供用
F	11.8	運動遊園活動ゾーン	すべて蘇南公園として供用

都市計画法としては、計画変更の手続きは不要かもしれないが、任意計画である木曽川左岸公園計画は、当初の計画から大きく用途変更されている時点で、公園計画の変更などの手続きを行うべきであると考えていた。至るところで計画が計画として運用できていない現実があるので、他の地域も含め解除(見直し)を行い、必要に応じた新たな方向性を定めていくべきと思われるが如何か。

- ▶ 指摘のとおり現在、B地区C地区においては計画とは異なり、公園以外の用途として開発されている。こうした状況を踏まえ「木曽川左岸公園計画」の見直す必要があると認識している。市の公園計画である「江南市緑の基本計画」については、令和10年度の改定を予定しているので、この計画改定と合わせて、「木曽川左岸公園計画」の統廃合を視野に入れて整理していきたいと考えている。

各保育園における災害時の避難について

令和6年9月議会

洪水ハザードマップや、新川流域・日光川水系の浸水予想図では、市内各所で3メートル程度の浸水が想定されると示されていて、その際、早めの立ち退き避難に加えて、立ち退き避難が困難な場合は、屋内での安全確保として垂直避難が重要となってくる。

市内の各保育園においては、平屋の保育園もあると思うが、水害時の避難方法について、より安全な外部への避難や垂直避難の避難訓練など(等)は行っているか。

- ▶ 市内の公立保育園18園において、平屋建ての保育園は、藤里保育園、布袋保育園、布袋東保育園の3園ある。残りの15園は2階建て。保育園における水害時を想定した避難訓練については、園の2階など高い場所へ避難する垂直避難を行っているが、平屋の保育園については、机を寄せて、その机の上やロッカーなど、なるべく高い位置へ避難する訓練などを行っている。

平屋の保育園において、特に垂直避難の重要性が高いため、屋上等へ垂直避難するための設備等を整備する必要があると考えるが、そういった整備の予定はあるのか。

- ▶ 水害時の垂直避難の重要性は認識しているが、平屋の保育園の屋上等への垂直避難は、屋上に手摺などの落下防止措置がされていないなど、園児の安全を守るための設備が十分ではなく、また、河川の氾濫等による浸水は津波とは異なり、危険な水位に至るまでの予測が立ちやすいことから、警戒レベルを注視しながら、早めの避難や、保護者への引き取り依頼、場合によっては登園を控えていただく等の対応により、園児の安全確保を行うことを考えており、現在のところ、垂直避難のための設備等の整備予定はない。